

# 住民要求実現で住みよい久喜市を 日本共産党久喜市議団



## 第3子からの給食費の無料化始まる

これまで共産党は保護者の皆さんとともに、子育て支援の一環として給食費の無償化を市に要望してきました。「給食費は保護者が支払うもの」と要望に対して検討をこななかった久喜市ですが、皆さんの声が、市政を動かしました。

今年4月から第3子以降は無償化が始まりました。対象の方から喜びの声を頂いています。しかし、要望していた「第2子半額、第3子以降無料」からすれば、まだまだ不十分で保護者の期待は満たされません。他の自治体では人口減少対策、子育て支援政策として無償化に向けた取り組みが進められています。党議員団は引き続き完全無償化に向けてこれからも皆さんと一緒に取り組んでいきます。



くらし福祉優先の久喜市政を求めて  
議案提案権を活用し 2019 年度予算に対し  
福祉優先の総額約 7 億 5000 万円の予算修正を  
提出しました。

- ・公民館使用料を無料に ▲933 万円減額
- ・プライバシー漏えいが危惧される社会保障・税番号制度の廃止 ▲2927 万円減額
- ・同和対策予算を減額 ▲258 万円減額
- ・暮らしを守るため介護保険料を引き下げ。一人あたり約1万円 4億6000万円
- ・住宅リフォーム・商店リニューアル助成制度を創設し経済振興を推進 4000万円
- ・子育て支援第2子の給食費を半額に 5600万円
- ・子どもにかかる、国保の均等割りを18歳まで減免する 6465万円
- ・水道基本料を10%引き下げる 9020万円

2019 年度基金残高 財政調整基金約 3 4 億円が見込まれ、修正案を実施する財源は充分あると言えます。

採決の結果は、質疑討論もなく否決でした

### 幸手市・杉戸町との ごみ処理広域化を断念

日本共産党は、広域化は大型建設につながりごみの減量化につながらない。環境悪化も懸念される。地元住民合意が得られていないなど問題があると指摘してきました。今後も住民参画を求め取り組んでいきます。

### 党議員団は継続審査求める

日本共産党久喜市議団と「市民の政治を進める会」は、審査が不十分で「継続審査」を求めましたが、新生久喜・公明党が賛成し、和解・賠償案を可決してしまいました。問題です。

### 審査 不十分のまま可決

市が売却した鷲宮農業センターの跡地から、建設ガラやアスベストが出て来たことから、売却先に撤去・処分費用など損害賠償7320万円を支払いました。議会では特別委員会を設置し審査を進めて来ました。

### 特別委員会で指摘した主な問題点

- ① 建設ガラ・アスベストの総量が不明
- ② 建物付きで土地を売却した契約書は。
- ③ 農業センター撤去の費用明細は。
- ④ 「随意契約」にした理由は。
- ⑤ 農業センターは市が「撤去する」との予算を可決しているのに、なぜ「売却」と方針変更したのか。

## 3月議会に提案された意見書

各議員の対応はあなたの思いと一致していますか

意見書の主旨	提出会派	共産 4人	市民 3人	無会 1人	公明 5人	新政 13	採決 結果
福島第1原発のトリチウム等汚染水の海洋放出に慎重な対応を求める	市民の政治	○	○	○	○	×	否決
賛否が同数となり、議長が反対							
国民健康保険の国庫負担の拡充を求める	日本共産党	○	○	○	×	×	否決
UR賃貸住宅ストックの活用を求める	公明党	○	○	○	○	○	可決
名護市辺野古における米軍新基地建設中止を求める	市民の政治 共産党	○	○	○	×	×	否決